**指導のてびき①**

メッセージアプリ（SNSなど）での気持ちの伝え方を考えよう

　―人権局啓発動画「SNSの使い方をみんなで考えよう！」を活用してー

　◆目的

　　　・SNS等での発信には、情報を発信する自由がある一方で、その情報が人を傷つけてしまう場合があることを知る。

　　　・SNS等に書き込む時は、相手やSNSを見る人の立場に立って考えることを大切にしようとする姿勢を持つ。

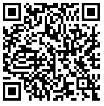
　　　・SNS等を活用する際の問題を考えることを通して、適切に利用する態度を養う。

　◆対象

　　　・小学校５・６年生

　◆時間

　　　・４５分

　◆教材名

　　　・啓発動画「SNSの使い方をみんなで考えよう！」（大阪府府民文化部人権局）

<URL:> <https://www.youtube.com/watch?v=wYsi4jELRZw>

　◆指導にあたって

・学校の一人一台端末以外は使用したことがない児童や、SNS等をほとんど使用したことがない児童など様々な実態があることを想定し、アプリケーションの機能や用語などについて、状況に応じて説明をするなど配慮して進める。

・これまでSNS等を使用する中で悪口を書かれたりいじめに遭ったりした経験のある児童がいることを想定して、児童の表情等を丁寧に把握し、気になる様子があればその場で声をかけたり、授業後に気持ちを聞いたりするなど配慮して進める。

　◆展開例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 流れ | 学習活動 | 留意点 |
| ●SNSのふだんの使い方について振り返るとともに、学習のめあてをつかむ。(５分)  ●SNS等の使い方について考える。  (30分) | （発問）メッセージアプリなどを使って他の人とやりとりをしたことはありますか。それはどんな時に使っていますか。  　◆予想される児童の反応  　　　・学校への欠席連絡や先生から宿題や持ち物の連絡を受け取ることに使っている。  　　　・習い事のサッカークラブでグループを作り、練習日程の連絡で使っている。  　　　・休日に友だちと遊ぶ約束や宿題の相談で使っている。  （発問）メッセージアプリ（SNSなど）の便利なところはどんなところだと思いますか。  　◆予想される児童の反応  　　　・時間をかけずに情報を伝えられること。  ・写真や動画を載せることができること。  ・たくさんの人と一斉に連絡をとることができること。  　　　・離れたところにいてもやり取りできること。  　　　・直接言うのが難しいことも伝えられること。  【今日のめあて】  メッセージアプリ（SNSなど）を使うときに大切にしなければならないことについて考える。  （説明）これから、動画を見ます。  （教材）人権局啓発動画「SNSの使い方をみんなで考えよう！」（大阪府府民文化部人権局）を観る。  （ケース１）  （発問）光さんはどんな気持ちでSNSに投稿したのでしょうか。  ◆予想される児童の反応  　　・千尋さんが周りの意見も聞かず自分勝手にふるまっていたのが嫌だ。  　　・千尋さんに直接伝えるのが怖い。  　　・千尋さんに伝えてもどうせ変わらないだろう。    （発問）光さんのSNSの投稿を知ったときや、光さんを呼び出して話を聞いたときの千尋さんの気持ちを考えてみましょう。  ◆予想される児童の反応  　　　 ・いつも一緒に遊んでいるのにどうしてこんなことをするのか。  ・どうして直接言ってくれないのか。  　　　 ・どうして自分のいないところで悪口を言うのか。    （発問）千尋さんや光さんが気持ちよく過ごすためには、どうしたらよかったのでしょうか。  ◆予想される児童の反応  　　　・千尋さんはもう少し周りの意見を聞いて行動できたらよかった。  　　　・光さんは直接千尋さんに自分の意見を伝えられたらよかった。  　　　・光さんは一人で言えないなら、友だちや先生に相談できたらよかった。  （ケース２）  （教材）動画の続きを観る。  （発問）希さんはどんな気持ちでSNSに投稿したのでしょうか。  ◆予想される児童の反応  　　 ・泉さんとばかり話していて許せない。  　　 ・佑月さんと話をしたいことがあったのに。  　　 ・私もいっしょに帰っているのに、どうして少しも話しかけてくれないの。  （発問）希さんや泉さん、佑月さんの状況を全然知らない人が希さんの投稿を見たら、どのように感じるでしょうか。  ◆予想される児童の反応  　　　・そこまで言わなくてもいいのに。  　　　・怒っていたとしても、SNSに投稿するのはよくない。  ・本当に佑月さんは無視したのかな。  ・佑月さんって無視するような人だったんだな。  （発問）希さんの投稿が拡散されていたことに気づいた佑月さんは、どんな気持ちだったでしょう。  ◆予想される児童の反応  　　　・どうして自分に言ってくれなかったのかな。  　　　・無視していないのに、どうしてそんなことを投稿したんだろう。  　　　・みんながこの投稿を信じたらどうしよう。  ・みんなから仲間外れにされたらどうしよう。  （発問）今回のケースでは、どうしたらよかったのでしょうか。ワークシートに自分の考えを書いてみましょう。  ◆予想される児童の反応  　　　・希さんは、「私も話に入れて。」と言って入っていけばよかった。  　　　・怒っているときにSNSに書き込むのはよくない。希さんは、自分の思いを直接佑月さんに伝えるとよかった。  ・希さんの投稿を拡散したこと。事情を知らない人が見ると、佑月さんが悪く見えることがあるかもしれない。飛鳥さんは、悪口の投稿などを見つけたら先生や周りの大人に言えばよかった。 | ・児童が発言しやすい雰囲気をつくるよう心がける。  ・メッセージアプリ（SNSなど）は便利なところもあるが、大切にしなければならない点もあることを押さえ、本時のめあてにつなげる。  ・動画を教室のテレビや  一人一台タブレット端末等に表示する。  ・なぜ直接千尋さんに言わなかったのか、SNSで千尋さん以外のグループを作って投稿したのはなぜなのか、光さんの気持ちを考えられるようにする。  ・自分を除いたグループが作られ、自分が知らないところで投稿されていたことを押さえる。  ・千尋さん、光さんそれぞれの行動の中でいけなかったところを押さえ、どのような行動ができたらそれぞれ納得できるのかを考えられるようにする。  ・なぜ直接佑月さんに言わなかったのか、SNSに投稿したのはなぜなのか、希さんの怒っている気持ちを考えられるようにする。  ・希さんの投稿が拡散されたことを押さえ、状況を知らない人がどう感じるかを考えられるようにする。  ・同じような経験をした児童がいないかなど子どもの様子を丁寧に見取る。  ・安易にSNSは使わない方がよいという考えに陥らないよう、初めに考えた「便利さ」を再度押さえる。  ・一方的な気持ちだけが表現されている情報は、受け取った側の理解のズレや誤解を生むことがあることを考えられるようにする。  ・情報を発信する自由とともに、相手を傷つけてしまう場合があることに気づけるようにする。 |
| ●ふりかえる。  (10分) | （説明）みんなの意見を聞いて、今日考えたことなどをワークシートに書きま  しょう。    　※時間の許す限り、感想や考えたことを学級全体で共有して終わる。 | ・メッセージアプリだけでなく、日常のやりとりにおいても、相手の立場に立って表現をすることや考えを聞くことが大切であることを確認する。 |

≪参考資料≫

1. インターネットの危険から子供を守る【内閣府】

<https://www.gov-online.go.jp/tokusyu/cu_internet_kodomo/index.html>



２．インターネットトラブル事例集【総務省】

<https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/>



３．「インターネットによる人権侵害」に関する参考資料【文部科学省】

<https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/jinken/sankosiryo/1322252.htm>

４. 携帯・ネット上のいじめ等への対処方法プログラム【大阪府教育庁】

<https://www.pref.osaka.lg.jp/jidoseitoshien/ijime/nettoijimetaisyohouh.html>